

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																						
ミス・パリ エステティック専門 学校名古屋校		平成20年3月26日		青山 卓史		〒 461-0005 (住所) 愛知県名古屋市中区東桜1-8-3 (電話) 052-957-6341																																						
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																						
学校法人ミス・パリ学園		平成20年3月26日		下村 朱美		〒 461-0005 (住所) 愛知県名古屋市中区東桜1-8-3 (電話) 052-957-6341																																						
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																																						
衛生	エステティック専門課程	トータルビューティ学科		平成20(2008)年度	-	平成26(2014)年度																																						
学科の目的	トータルビューティに関する理論と技術を研究し、広く知識を授け、社会的に優位の人材を育成することを目的とする。																																											
学科の特徴(主な教育内容、取得可能な資格等)	取得可能な資格:認定ビューティセラピスト、サービスマナー検定、ダイエットアドバイザー検定、美容ライト脱毛士、色彩技能パーソナルカラー検定、ネイリスト技能検定、ビューティアドバイザー検定など 令和5年4月1日時点における在学者155名、令和6年3月31日時点における在学者(令和6年3月31日卒業者を含む) 124名 退学率18%																																											
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技																																				
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		2,085 単位時間	1,035 単位時間	0 単位時間	180 単位時間	0 単位時間	870 単位時間																																			
				104 単位	69 単位	0 単位	6 単位	0 単位	29 単位																																			
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率																																							
182 人	155 人	0 人		0 %	18 %																																							
就職等の状況	<table border="1"> <tr><td>■卒業者数(C)</td><td>:</td><td>59</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職希望者数(D)</td><td>:</td><td>54</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職者数(E)</td><td>:</td><td>54</td><td>人</td></tr> <tr><td>■地元就職者数(F)</td><td>:</td><td>49</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職率(E/D)</td><td>:</td><td>100</td><td>%</td></tr> <tr><td>■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)</td><td>:</td><td>90</td><td>%</td></tr> <tr><td>■卒業者に占める就職者の割合(E/C)</td><td>:</td><td>91</td><td>%</td></tr> <tr><td>■進学者数</td><td>:</td><td>3</td><td>人</td></tr> <tr><td>■その他</td><td>:</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(令和5年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報)</p> <p>■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) ミス・パリ・グループ、株式会社 ケンジ、株式会社バイオテクノロジービューティー、株式会社ぶらいむ、株式会社 シャンヴル・スフレ、リゾートトラスト 株式会社、株式会社 コパン、FAVORIX BEAUTY株式会社、株式会社 エストロフ などエステティック、ネイル、メイク、化粧品業界</p>								■卒業者数(C)	:	59	人	■就職希望者数(D)	:	54	人	■就職者数(E)	:	54	人	■地元就職者数(F)	:	49	人	■就職率(E/D)	:	100	%	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	:	90	%	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	:	91	%	■進学者数	:	3	人	■その他	:		
■卒業者数(C)	:	59	人																																									
■就職希望者数(D)	:	54	人																																									
■就職者数(E)	:	54	人																																									
■地元就職者数(F)	:	49	人																																									
■就職率(E/D)	:	100	%																																									
■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	:	90	%																																									
■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	:	91	%																																									
■進学者数	:	3	人																																									
■その他	:																																											
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価: 無</p> <p>※有の場合、例えば以下について任意記載</p> <p>評価団体: _____ 受審年月: _____ 評価結果を掲載したホームページURL _____</p>																																											
当該学科のホームページURL	info-nagoya@miss-paris.ac.jp																																											
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	<p>(A: 単位時間による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>2,085 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>1,185 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>390 単位時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>2,085 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>1,185 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>60 単位時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>24 単位時間</td></tr> </table> <p>(B: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総単位数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の単位数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち必修単位数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の単位数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)</td><td>単位</td></tr> </table>								総授業時数	2,085 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	1,185 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	390 単位時間	うち必修授業時数	2,085 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	1,185 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	60 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	24 単位時間	総単位数	単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位	うち企業等と連携した演習の単位数	単位	うち必修単位数	単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	単位								
総授業時数	2,085 単位時間																																											
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	1,185 単位時間																																											
うち企業等と連携した演習の授業時数	390 単位時間																																											
うち必修授業時数	2,085 単位時間																																											
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	1,185 単位時間																																											
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	60 単位時間																																											
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	24 単位時間																																											
総単位数	単位																																											
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位																																											
うち企業等と連携した演習の単位数	単位																																											
うち必修単位数	単位																																											
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位																																											
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位																																											
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	単位																																											
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>4 人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7 人</td> </tr> </table> <p>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</p> <p>8 人</p>								① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	3 人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	4 人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人	計	7 人																								
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	3 人																																											
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	4 人																																											
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人																																											
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人																																											
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人																																											
計	7 人																																											

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ①企業で行っている教育内容の一部を本プログラムに導入し技術レベルの高い教育を行うことにより、即戦力人財を育成する。
- ②就職後のミスマッチを未然に防ぐため、より実践的な教育内容とする。
- ③定期的に教育プログラムの見直しを行い、学校、企業のニーズを相互確認する。
- ④企業の教育トレーナーによる、技術到達レベルの確認試験、指導を実施することで、学生の技術習得レベルと企業が求める技術習得レベルの統一を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会にて、「新しい知識や技術、接客マナーなど社会人として必要とされる人材の育成」について意見交換を実施し、学校関係者評価委員会の評価結果と合わせて、学校主導でカリキュラムの見直し及び、決定を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
青山 卓史	ミス・パリ エステティック専門学校名古屋校 校長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—
森島 和美	同 教育課課長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—
立野 舞子	ミス・パリエステティック専門学校名古屋校 教務課	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—
越川 治枝	株式会社シェイプアップハウス 教務部 部長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
吉田 知子	株式会社シェイプアップハウス 教務部 課長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年8月11日 14:00～15:00

第2回 令和6年3月19日 14:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- ①基本的な接客マナーや身だしなみを備えて卒業し、サロンで活躍するためのアドバイスをいただいたことで、学生の授業に取り組む姿勢を徹底した。
- ②資格試験の受験率・取得率をアップさせるために、学生に検定試験スケジュールを定期的に繰り返し伝達することをアドバイスを受け、学生が計画的に学習を進めるために実施を継続している。また、資格取得が目的の学習とならないよう取得後は授業内でその技術や知識を活かしたロールプレイングを取り入れ、学内サロンやインターンシップなどの実践の場で活用できるように、さらに充実した職業専門教育を目指す。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ① マナー等、接客の現場を体験しながら、社会人としての意識付け、責任感を持ってもらう。
- ② 職場の先輩や仲間とのコミュニケーション力をつけることにより、接客業に不可欠な社会基礎力を習得する。
- ③ プロの技術者が行う技術の補助をすることで即戦力の人材を育成する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

- ① 企業の教育部がプログラムを作成し、マナーや技術の試験を担当する。
- ② 現場のスタッフが学生に直接指導・評価並びにアフターフォローを行う。
- ③ 履修状況並びにプログラムの定期的な見直し。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
ボディ技術	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	身体に基本6手技を用いて行う全身のボディマッサージ。骨格を理解して行う求心性のマッサージ。	株式会社シェイプアップハウス
フェイシャル技術	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	基本6手技を用いて行う美顔マッサージ。	株式会社シェイプアップハウス
関連技術(アロマテラピー)	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	アロマテラピーの知識を活用した全身マッサージ。	株式会社シェイプアップハウス
関連技術(ボディメイク)	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	痩身施術コースの顧客への指導に活かせるセルフエクササイズを学ぶ。	株式会社シェイプアップハウス
関連技術(美容電気脱毛)	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	毛根から処理を施す美容電気脱毛	株式会社シェイプアップハウス

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

- ① 校長は教職員研修規定に定められた年度計画を作成し、企業との研修を実施。
- ② 企業の要求する技術レベルを教えることができるよう、教員の達成レベルのチェック、指導を行う。
- ③ 教職員は企業に出向き、常に最新の技術、理論を習得しようとする中で、教職員自身の自己成長を促し、現場での指導内容に反映させるものとする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名： 講師研修	連携企業等： 株式会社ミス・パリ・グループ
期間： 令和6年4月～令和7年3月 年間	対象： 授業担当講師
内容： 講師自身の技術力向上を図り、理論・技術における指導方法の統一	
研修名： 日本スパ・ウエルネス協会 講師研修会	連携企業等： 日本スパ・ウエルネス協会
期間： 令和6年4月～令和7年3月 年間2回	対象： 認定講師
内容： 資格試験改定内容の伝達、採点基準の統一化	

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名： 講師研修	連携企業等： 株式会社ミス・パリ・グループ
期間： 令和6年4月～令和7年3月 年間2回	対象： 授業担当講師
内容： 授業アンケート結果を踏まえた指導方法の検討	

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	講師研修	連携企業等:	株式会社ミス・パリ・グループ
期間:	令和6年4月～令和7年3月 年間	対象:	授業担当講師
内容:	講師自身の技術力の向上を図り、技術における指導方法の統一		
研修名:	講師研修	連携企業等:	株式会社ミス・パリ・グループ
期間:	令和6年7月24日	対象:	授業担当講師
内容:	連携企業内で行われている実技試験(社員対象)において、施術のポイント・採点基準の確認と擦り合わせ		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	講師研修	連携企業等:	株式会社ミス・パリ・グループ
期間:	令和6年4月～令和7年3月 年間2回	対象:	授業担当講師
内容:	講師自身の指導力強化のための内省と学習		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ① 教育に対する質や熱意等に関するアンケートを取り、教育内容や市政に関する見直しを随時行うこととする。
- ② 卒業生あるいは保護者に対しても同様のアンケートを行うことにより、さらに充実した職業専門教育を目指す。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校のビジョン及びそれを実現するための方針策定並びに理解。
(2) 学校運営	事業計画等に沿った運営方針の策定。
(3) 教育活動	教育内容は教育理念・教育目標との一貫性。
(4) 学修成果	学生の就職に関する目標設定、その成果。
(5) 学生支援	学生の心身面での管理体制。
(6) 教育環境	教育目標達成に必要な施設、設備、教材の整備。
(7) 学生の受入れ募集	学生募集の計画性、その結果。
(8) 財務	適正な予算執行。
(9) 法令等の遵守	法令や専修学校設置基準の遵守。
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源・施設を活用した社会貢献・地域貢献。
(11) 国際交流	留学生規定の整備。

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

自己評価及び学校関係者評価の意見を取り入れ、中途退学者数減少目標、ISO導入による品質チェックなど具体的に数値化した目標を設定し、事業計画を作成することにより、日々の取り組みに対しての明確な結果検証を行い、次年度の目標に反映させることで継続的な学校環境の向上に努める。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
杉原 昭二	学校法人ミスパリ学園理事 評議員	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	学校評議員
須賀谷 映子	NPO法人日本スパ・ウエルネス協会 教育委員長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	業界団体等委員
越川 治枝	株式会社シェイプアップハウス 教育部 部長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
東 千晶	株式会社シェイプアップハウス 人事部 部長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())
 URL: <https://www.miss-paris.ac.jp/nagoya/>
 公表時期: 令和6年7月31日

授業科目等の概要

(エステティック専門課程 トータルビューティ学科)															
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			伝承美学	華道、茶道	2年間	60	4	△	○		○		○	○
	○			表現・芸術	パーソナルカラー (選択) サロンワーク/トータルコーディネート ※一部選択必修	2年間	105	7	○	△		○		○	○
	○			ビジネス実務基礎	サービスマナー検定対策、キャリア教育、英会話、サロン経営・IGT、教養	2年間	255	17	○	△		○		○	○
	○			フェイシャル総合理論	皮膚科学、化粧品理論、栄養学	2年間	120	8	○			○		○	
	○			ボディ総合理論	生体のしくみ(解剖生理学)、運動生理学、美容瘦身学	2年間	120	8	○			○		○	
	○			関連技術理論	関連実技各論Ⅰ(脱毛基礎理論・WAX理論)、関連実技各論Ⅰ(メイク・ネイル)	1年次	15	1	○			○		○	○
	○			関連技術理論	関連実技各論Ⅰ(アロマセラピー) (選択) 関連実技各論Ⅱ(ボディメイキング・リフレクソロジー・脱毛理論応用)/関連実技各論Ⅲ(ビューティカウンセリング) ※一部選択必修	2年次	45	3	○			○		○	○
	○			エステティック総合理論	エステティック概論、関連法規、エステティック機器理論(電気学・機器学)	1年次	30	2	○			○		○	
	○			健康管理学	衛生消毒学、救急法、コミュニケーション学・カウンセリング、心身生理学、スパセラピー、免疫学	2年間	105	7	○			○		○	
	○			フェイシャル実技理論	フェイシャル実技理論(カウンセリング学含む)	2年間	75	5	○	△		○		○	○
	○			ボディ実技理論	ボディ実技理論(カウンセリング学含む)	2年間	75	5	○	△		○		○	○
	○			関連実技理論	関連実技理論Ⅰ(メイク・ネイル) (選択) 関連実技理論Ⅰ(脱毛)、/関連実技理論Ⅰ(メイク・ネイル) ※一部選択必修	1年次	30	2	○	△		○		○	○
	○			関連実技理論	(選択) 関連実技理論Ⅱ(瘦身応用理論・ボディメイキング・ヨガ・ストレッチ)/関連実技理論Ⅲ(メイク・ネイル)	2年次	30	2	○	△		○		○	○
	○			フェイシャル実技	フェイシャル基礎実技、フェイシャル専門機器実技、フェイシャル専門マッサージ実技、パック実技	1年次	150	5	○			○		○	○
	○			フェイシャル実技	フェイシャル専門機器実技、フェイシャル専門マッサージ実技 (選択) F応用技術/スキンケア・メイク ※一部選択必修	2年次	120	4	○			○		○	○
	○			ボディ実技	ボディ基礎実技、ボディ専門実技、ダイエット実技、ヒーリングセラピー、超音波・パターン・中周波	2年間	240	8	○			○		○	○
	○			関連実技	ネイル、サロンワーク(WAX脱毛含む)、メイク (選択) 電気脱毛実技・パックマッサージ/ネイル実技 ※一部選択必修	1年次	180	6	○			○		○	○
	○			関連実技	(選択) アロマセラピー・リフレク、業界研究技術、ボディメイキング、電気脱毛実技、メイク/ネイル実技、着付け、メイク、ヘアアレンジ	2年次	180	6	○			○		○	○
	○			校内行事	学術会議、ビューティコンペティション、ミスバリエ、球技大会	2年間	60	2	△			○	○	○	○
	○			実習	オープンキャンパス、サロン実習、学内サロン	2年間	90	3				○	○	○	○
合計						20	科目		2085 単位(単位時間)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
所定のカリキュラムを履修し、学校の定める科目の卒業に必要な時間 卒業要件：(履修時間)を満たし、且つ、前期・後期の年2回の定期試験で合格した者に当該科目の単位取得を認める(習得)	1学年の学期区分	2期
履修方法：全科目履修	1学期の授業期間	24週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。